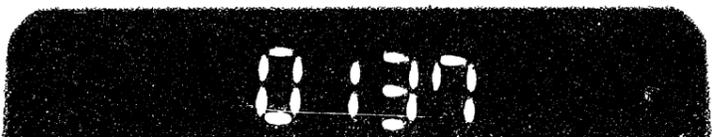


E-1319



E.3.2.0.7/1

通商局
 公普通第七六號
 昭和十一年四月二十三日
 在エチオピア國
 臨時代理公使 鈴木 九萬
 外務大臣 有田 八郎 殿
 本邦商品ノエチオピア國市場ニ於テ取引狀況
 報告ニ關スル件
 本邦商品ノエチオピア國市場ニ於テ取引狀況ニ關シ判紙
 一通報告ス

在エチオピア日本公使館

昭和十一年七月六日 受付

本邦商品ノエチオピア國市場ニ於テ取引狀況
 第一章 輸入狀況
 一 概要、本邦商品ノ輸入港、エチオピア國貿易ニ於テ地位
 エチオピア國向本邦商品ハ海運、佛國郵船會社船 (M.M. 會社)ニ依リ時ハ佛領ソマリランド港迄直航、日本郵船會社船ニ依リ時ハ「アデン」港直航同港より「カフジ」・「デンシヨ」・「インド」・「ブラザース」會社船 (印度系、毎週一回定期) 又ハ「エム、エム」會社不定期船より「ケルケ」港迄聯絡ス
 「ケルケ」税関ニ於テ申告ノ上「トランジット」ダイヤリノ支拂ヲ爲シ以後同港「アデリス」港ニ往ル佛「E」鐵道便ニテ積送シ「アデリス」港ハ「税関」(別添第一号)「エチオピア」國關稅表參照右ハ最近當國商務省ヨリ入手セルモノニシテ「アップ」・「ト」・「デ」・「レ」・「モ」ニ付本年三月十七

在エチオピア日本公使館

日附公普通第四号ヲ以テ送付セシムル代ハラレ度ニシテ
 價格量目等ノ申出、輸入手續ヲ完了シテ荷物ノ引
 渡ヲ受ク茲ニ注意スルハ「ケバケレ」税関ニ於テハ輸入
 商自身又ハ代理者ニ依リ直接通関、積換手續ヲ為
 サル時ハ荷物表紙ノ記名ニ送付スルモノトシテ同港保税倉
 庫内ニ當該荷物ヲ保留シ相當高率ナル倉敷料ヲ徴
 スルニ付今後當國ト直接取引開始ニ當リケハ「ケバケレ」
 港ニハ必ず支店代理店ノ設置或ハ特約運送店ヲ設
 置スルニ必要アルニトナリ
 本邦商品ノ全部ハ佛領「モリ」ケバケレ港經由「エネオ」
 國ニ輸入セラルルモ参考ノ爲同國貿易路ヲ示セハ在リ如シ
 一東路
 「ケバケレ」港「コ」フランタ、エネオ「ロ」ン 鉄道「コ」ア「イ」ス「ア」バ「レ」

在エテイオピア日本公使館

一列モ「コ」ケバケレ港ヨリ「ア」イ「ス」ア「バ」レ間ニ介在スル地方ノ
 貨物ハ之ヲ利用ス
 一西路
 「カ」ル「シ」ム「ム」 (Kartsum) 「ポ」ト「ス」タ「ン」 (Port Sudan)
 ヲ「イ」ル「モ」ハ「コ」ル「シ」ム「ム」經由「コ」リ「コ」ナイ「レ」何及「ソ」ン「シ」ム「ト」
 (Sobat) 何ヲ何船ヲ「ソ」リ「コ」ム「ム」 (Baba) 何岸カ
 「シ」ム「ム」 (Samsela) (人約五千人) 送送「コ」同「コ」
 隊商「コ」三國西部地方諸州或「コ」ム「ム」 (Sene)
 市ヲ通リ「コ」ア「イ」ス「ア」バ「レ」ニ達ス
 一北東路
 伊領「コ」エ「テ」イ「オ」ピア「コ」ル「シ」ム「ム」 (Maddama) 港ヨリ
 「ア」ス「ム」ラ「レ」 (Camara) 市迄鐵路、夫レ「コ」リ「コ」國北部
 「ケ」グ「レ」 (Sige) 地方ニ到ルモ「ト」伊領「コ」リ「コ」リア「レ」

在エテイオピア日本公使館

アムステルダム (Amst) 港ヨリハルク (Galle) 地方ニ到ル
 モントアリー
 四東南路
 英領「ベンネン」(Benken) 港ヨリハルク
 (Madagascara) 市經由「國」(Madagascara) 市
 (人口約四十人)「ハル」(Harar) 市 (人口約四十人)
 三到キト英領「ソマリ」(Somali) 港ヨリハルク
 (Mozambique) 經由「國」(Mozambique) 港ヨリハルク
 (Africa) ニ到キトモ
 五北西路
 「スーダン」(Sudan) (Sudan) 及「カラハント」
 (Kalahant) 經由「國」(Kalahant) 地方 (人口約
 (Sudan) 市 (人口約六十人) (アム) ニ到キト又ハ

在エテオピア日本公使館

青「ナイロ」何沿岸都市「セニヤール」(Senar) 及「ロセー」
 アム (Amst) 經由「國」(Amst) (Seyiam)
 地方ニ到ルモントアリー
 以上五貿易路中第一ハ最モ重要ナル事ニ貿易総額
 ノ七割乃至八割ヲ占ム次ハ第六、第三、二、約ニ割ヲ
 占ム残余ノ大部ハ第四ニ依ル第五北西路ハ現在ノ貿易
 路中取モ重要性ヲ失ヒモ、割合モ五分乃至二分
 乃至五分位ノ見當ナリ、然レトモ本路ハ未開發ノ北
 部富裕地方「ゴジヤル」州等ノ肥沃ナル地方ヲ貫通
 ン居ルコト以テ資源開發ノ嚆ハ輸出入ニ取リ重要
 性ヲ有スニ至リ得ヘキ也 當國現状ヨリ尚茲數十
 年ノ將來ト見ルハヤナリ第四路ニ依ル英領「ソマリ」
 ノ輸入佛日鐵道ノ沿其ノ重要性ヲ失ヒタルモ、三

在エテオピア日本公使館

國東部「オバデン」(Baqalan)地方及同地方附近在任ノソ
 コリ人ノ需要ニシテ少量ノ石油、塩及米ヲ輸入シ保護
 皮革類、駝鳥ノ羽毛等ヲ輸入シ將來「バルバール」港ヨリ
 「國」ヲカケ「カ」ノ各埠ヲ經テ「ア」ノ本經路ニ依
 併結ス鉄道ノ敷設ヲ見ルカ如キ場合ハ本經路ニ依
 貿易ハ「カ」ノ港ニ依リ貿易ニ格格スルニ至ルヤリ
 「ア」ノ國ニ輸入スルニ本邦商品ハ生地粗布ヲ大宗トシ
 綿糸、人絹織物、陶器硝子器等ノ雜貨類其ノ他
 「ア」ノ各埠ニ於テ各埠商品ニ涉リ本邦商
 品ヲ取扱ハサルモノナリ本邦商品専門在任ニシテ
 現狀ナリ
 御承知ノ如ク當國ニ於テハ正確ニ統計ノ發表ナキニ
 付在ニ一九三四年、一九三五年度ニ於テ「カ」ノ港經

在エテイオピア日本公使館

由輸入ノ狀況ヲ示ス「カ」ノ港輸入額ノ七割五分乃至八割ヲ
 「エチオピア」ノ輸入額ト看做サル(單位「キログラム」)

品名	一九三四年	一九三五年
ア「カ」セント(毛粗布)	五、〇九一、二五〇	三、九五三、六一〇
木棉	四七七、〇〇〇	三三三、一七〇
棉糸	五五二、七三〇	八七六、二二〇
石油	一、六四五、六四〇	一、三九六、二五〇
揮發油	一七〇、六六〇	一七三六、四四〇
塩	一、三〇六、三〇〇	一、六九一、五七〇
砂糖	九四〇、〇三〇	六六九、六〇〇
石炭(苦味炭)	二、四〇六、六八〇	一、〇八九、九一〇
ビール	三〇、三一一〇	八六、七三〇
葡萄酒	一〇、五二六、四〇〇	六九、〇〇〇

在エテイオピア日本公使館

リキニール、アペリケフ	九三、八六〇	六三、七七〇
米	五五、一七〇	五三、〇九〇
麥粉	一〇、〇〇〇	一〇、七三〇
精製酒精	三六、七九〇	三三、八一〇
ブリキ材及金物	八五、六四〇	六五、四六〇
硝子器	二二、二二〇	一〇、四〇〇
建築材料	四〇、五八〇	一、九三三〇
自動車	二二、四〇〇	四三、一〇〇
煙草	一三、八七〇	三六、三〇〇
香料	六二、四三〇	四三、五三〇
ゴット	二七、三三〇	九四、三三〇
袋	四九、八四〇	三九、〇〇〇

在エテイオピア日本公使館

武器、彈藥	三〇、三〇〇	三六、一三〇
小包郵便	一四、五〇〇	一〇、七六〇
雜貨	二二、八三〇	一六、三三〇
	一六、六五二、五〇〇	一六、一六六、一七〇
右表ニ據リテ見ルニ如ク生地粗布ハ一九三四年度五、〇九一、二五〇 「ヤログラム」一九三五年度三、九五三、六一〇、「ヤログラム」輸入也 ラレ總輸入數量ニ對シ各々 二五、九% 及 二四、九% ヲ占ム		
而シテ生地粗布ハ全部ニ本製成品ニテ本綿棉糸ニアリキハハ 割五分以上残リノ一割五分モ極ク少量ノ英國輸入品(高級 本綿)ヲ除キ大部分ハ在「ヨルバ」本邦商社又ハ印度人 ノ手ニ依リ取扱ルニ「ヨルバ」又船ト「ヨルバ」稱スヲ得		

在エテイオピア日本公使館

輸入

棉糸、揮發油、塩、ビール、東京、麥粉、自動車、スーツ、武器、彈藥

一九三五年年度第一、二、三期分（八月乃至九月分）佛領ノ各
 リ、レ、カ、レ、港ニ輸入セラルル各國主要商品及數量ヲ示ス
 尚同港輸入數量ノ七割五分乃至八割ハ、マ、キ、オ、ロ、レ、國ニ
 向ケラル、モ、ノ、ナ、レ、ト、前、述、ノ、通

本邦ノ總數量ハ、四、八、三、噸ニテ、三、七、七、一、八
 棉布四、五、八、三、棉糸四、七、七、一、陶器一、六、雜貨二、二、
 佛蘭西四、一、七、一、五、噸、三、七、七、一、八
 葡萄酒一、三、麥粉一、九、一、油六、一、鉄五、〇、銀、銅、鉛、二、三、三、
 機械類七、四、紙類四、六、七、銃器七、九、飛行機部、分、五、七、
 佛領植民地（佛領ノ、マ、リ、ヲ、除、ク）一、九、〇、噸、三、七、七、一、八

在エテイオピア日本公使館

ア、テ、ス、ア、バ、レ、市場ニ於テ、生地粗布ノ相場ハ、大体一反（三、十、六、
 寸、十、碼）五、リ、レ、五、十、仙、ナ、ル、以、テ、一、九、三、五、年、度、輸入、價格ハ
 三、〇、〇、〇、〇、〇、イ、タ、リ、ト、ナ、リ、之、ニ、木、棉、棉、糸、ヲ、合、ス、ル、時、ハ、總
 輸入額ノ約三、三、二、二、%ニ達シ、各國ヨリノ輸入減ニ反シ、増加
 が見ツ、アリ

一、九、三、五、年、度、ノ、總、輸入、數量ハ、一、九、三、四、年、度、ニ、比、シ、〇、八、三、%
 ノ、減少ヲ見、最モ不況年度タル一、九、三、六、年、ヨリ、尚、一、層、ノ、不振
 ノ、不、況、ノ、狀、況、ニ、在、リ、故、ハ、作、業、縮、小、ニ、依、リ、先行、不安ノ、爲
 各、輸入、商、ノ、引、合、見、合、セ、ト、外國、卸、輸出、商、ノ、取引、中止
 契約ノ解除ト、茲、四、五、年、末、ノ、海外、取引、國、ノ、不、況、ニ、依、リ
 三、國、主要、輸出、品、タル、珈、琲、皮革、類、ノ、賣、行、不振ニ
 般、購買、力、ノ、低下、ヲ、見、タ、リ、テ、主、キ、上、原、因、ナ、リ

輸、入、中、前、年、度（一、九、三、五、年）ヨリ、増加ヲ見、タ、ル、ハ

在エテイオピア日本公使館

輸入

紙巻煙草	六	葡萄酒	五	紙墨類	五			
英國ヨリ	三三三噸							
紙巻煙草	一五	油	一四三七	石炭	五			
飛行機用燃料	三六							
アデニヨリ	三五六噸							
紙巻煙草	二	織物(粗布棉布及人絹織物)	六九	自動車	三			
米國ヨリ	六九噸							
紙巻煙草	五八	自動車	一一	揮發油	二四九			
石油	六							
埃及ヨリ	三八三噸							
野采	四二	石油	一五五	揮發油	一三一			
伊大	利ヨリ	八四八噸						
葡萄酒	六九	木材	八四	七六	機械	一九	家具	一五
自動車	一四							
獨逸ヨリ	八五	白鐵	一八					

在エテイオピア日本公使館

ビール	四〇	セメント	七四	油	六九	鉄	一	機械	七九	鉄製品	八五
白耳	六〇	八六	四噸								
ビール	四〇	セメント	七六	鉄	一	塗料	二五	鉛蓄電池	四三五		
和蘭ヨリ	一〇	四噸									
牛乳	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
其他諸國ヨリ	八四	六	七噸								
織物(粗布棉布及人絹織物)	三五	二	麥粉	九八	砂糖	七八					
油	一九	木材	一九	二	揮發油	八六	雜	三	一九五		
在二九三年度及二九三五年度											
輸出表示ス											
品名	年度										
アデニヤ	珈琲	一九三四年									
		一九三五年									
ハール	珈琲	七、八、五、九〇									
		六、二、四、五、二〇									

(単位、キログラム)

在エテイオピア日本公使館

珈琲(屑物)	六、七六。	九四。
蜂蠟	三、九七、六八。	三、八〇、四三。
アムシニア、バター	一、五、六八。	二、六四。
象牙	〇。	—
馬鈴薯	五、八、三〇。	七、〇〇。
皮革	四、三六、八八。	六、九〇、二五。
羊皮	四、九七、七〇。	五、八四、五五。
野羊皮	四、四一、二五。	九、五、六四。
毛皮	四、四六。	八、六〇。
乾燥の野菜	一、六、二九。	九、五、四四。
穀物類	三、三三、三三。	三、九四、八〇。
麥粉	一、三、七六。	一、三〇、〇四。
染料(種)	七、六、七六。	一、五。

在エチオピア日本公使館

雜貨	一一、二四。	二、八四、五七。
獸類(頭)	九、四六。	六六。
小包郵便	五、九七、九一。	六、七、二六。
合計	二、七、三五、五〇、三六	二、七、九三、〇一、〇八

一九三四年度比一九三五年年度總輸出額ニ於テ約六千
 ヲ増シテ増加ヲ見ヨミヨミニ於テハ皮革類二百六十千
 ヲ増シテ他々野羊皮ニ於テモ夫
 増加シ居ルモ珈琲類ハアムシニア、レ、ハ、物、亦、ニ、減、少、
 ナリ

エチオピア國ニ於テ本邦商号ノ地位
 輸入本邦商号ノ内地粗布及棉糸ハ、三、千、〇、〇、〇、
 取リ止頓商号地位ニ在リ即チ當國ノ男女共ニ
 (若キ者女子ハ手織トカセシ厚地ニテ製衣セルモノ

在エチオピア日本公使館

着用品但シ裏地ハ粗布ヲ用テ(四季生地粗布ヲ製セル衣
 服ヲ纏ヒ有ニハフシヤシト稱ス)薄地木棉ヲ被
 衣レ
 常子ノ衣服ハ上及フスボンレ成リ上及ハ普通洋服ノ
 長ニ似タシニフスボンハ寧ろ股引ト稱スヘク脚ニ
 密着セルモノナリ
 フシヤシノ高級品ハフシ國産棉ヲ製織セルモノナリ
 却富階級ノ佐々ニ應レ織師(手織機ヲ用テ)カ
 人フドレシモノカ織ル(手織)一枚百ラトル以上
 ノ價アルモノモアリ一般消費者ニ於テハ本邦等ヲ輸入
 セル綿糸ヲ以テ製セルモノヲ用ヒ價格ハ一枚約五六
 ラトルナリ
 尚富國主婦ノ家事ノトシテ棉ヲ糸ヲ紡リテ

在エテイオピア日本公使館

アリ夫レテ織師ヲシテ織ラシメテモアリ又ラトル地ヲ用フルモノナリ
 生地粗布ノ薄手物ヲフシヤシト稱ス(用トスルモノモアリ)フシヤシハ
 八米突ヲ要シ衣服ニハ五米突ヲ要スラ以テ一人當リ三
 十ラトル中十三米突年ノ生地ヲ要スルモノナル(年固ニ於テ)購買
 カヲ四枚(三國ニハ四回大繁アリ)大繁ニ際シ着物ヲ
 新調スル風習アリト假定スルハ五十四米突ヲ消費スル
 甚達ヲ富國人ニテ約千市ト推定シ内全然未開ノ
 種族三百市ノ開種族百市ヲ除ク六百市ノ年數ヲ
 常子ト假定シ消費生地ハ一倍六千二百ラトル米突トナリ
 米突ノ十ハラトルトシ年額二百九十一千六百ラトル
 婦女子ノ消費量一人當リ五米突年ト見六百千五百
 米突年額百十三千五百ラトル合計四百四十千
 ラトルノ巨額ニ達シ得テ計算ナリ然レトモ實

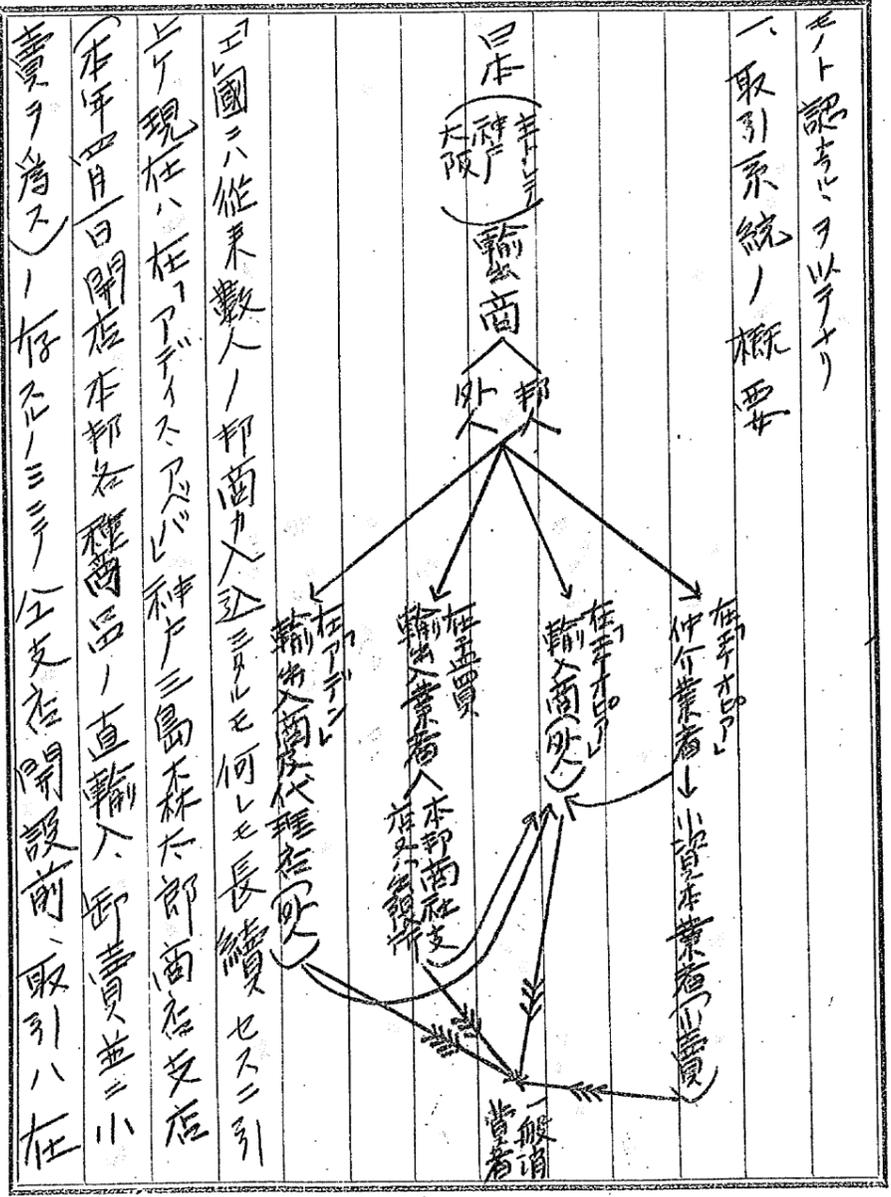
在エテイオピア日本公使館

際消費額（輸入額ヲ實際消費額ト看做ス）ハ一九三五年
 度ニ於テ約三百カ、タレトニ過テサルヲ以テ前記一九三五年
 度輸入額ニ比シ尚百カ、タレトニ以テノ差アリ
 人當リ平均消費額ヲ見シ一九三五年度令ハ〇・五〇
 フタレトニ處テ、三ノオ、タレトニ輸出入ノ平均年度上見ルハ
 一九三一年ノ平均額ハ〇・七五、タレトニシテ又或レ事内家ノ
 推定ニ依テ一人當リ消費額〇・六七、タレトニ看做セル
 七ノ三ノ戰争ノ終結ヲ見其ノ終結條件カ、日ノ通
 商關係ヲ阻害セルモノナリテ本邦商貨ノ發展可
 能性大ニ是ノアルヲ文化ノ進展ニ伴フ奧地生活様式ノ
 改善ノ相待テ販路擴張ニ連レ益々有望ナル將來
 ヲ有スモノト信ス
 棉布類ハ主トシテ英國製、カーギー、地及伊大、利製

在エテイオピア日本公使館

緩織ヲ輸入セテ一部消費ノ嗜好ニ應シ居ラレモ、開戦ト共ニ
 後者ノ輸入金ヲ杜絶シ前者モ亦杜絶ノ由征ノ為極ク少
 量ノ輸入ヲ見居ルニ、三ノオ、タレトニ前記西商等其當國人ノ好ミノ
 モノヲ以テ商貨トシテハ、一時衰退ノ現狀ニ在リモ永續性アルモ
 ト認テラレ
 當國都市ニ居住スル婦人ノ間ニ流行スル數年來幾分
 文化發展ニ伴フ着飾ノ風潮後開シ服裝ノ急ニ於テモ
 今迄木棉物、紋朱子（白）編織綾（白）物ヲ着セモ人
 人絹織物ニ走ル傾向顯著トシ、賣商モ頗る嗜好
 ノ趣ヲ察シ粗布生地ト共ニ人絹織物類ノ無地
 包物、柄物（需要ナシ）ヲ店頭ニ飾ルニ至リ、西商等ノ
 輸入額ハ重要輸入商貨目録計表中ニ現レ居ラレ
 七年額約三四百、タレトニ示シテ増加シマアリ

在エテイオピア日本公使館



エントリを以て以テ
取引系統ノ概要

一國ニ従来數人ノ邦商カハ近ニナルモ何レモ長續セズシテ
トク現任ハ在メオーストリアハ神戸三島若林六郎商任在任
本年四月日開在本邦各種商品ノ直接輸入卸賣並ニ小
賣ヲ爲スノ存シニミシラ企支左開設前取引ハ在

在エテオピア日本公使館

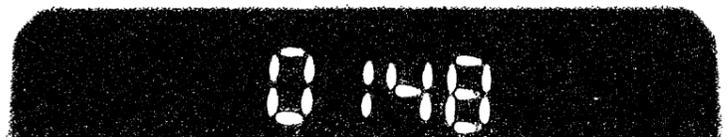
雜貨類ニ在キハ各種商品ハ量販輸入セ居カ一般消費者向
トシテハコッポレ類、ランポ、類及其ノ附屬品、珈琲及紅茶
茶碗類、婦人用ノ絹製日傘、男子用ノ毛並ニ本棉靴下
但シ脛ヲ覆フ丈ノ脚絆等ノモノ等及澤色人絹糸(今
ヤンモノ)兩端ノ飾リ用)ハ三取モ需要多カレシ
三日本以外ノ外國生産ニ係リ競争多シノ外各輸入港別輸入
數量及價格

前項ニ述ハルル如ク生地租布ハ本邦品ノ独占市場ト見レ
今ノ棉織物人絹織物類モ英國、伊國品ハ影ヲ潜メ
漸次本邦品ノ奪食ニ任セトシタリ

第二章 取引系統

本章以下述ニ處ハ當國輸入本邦品中第一位ヲ占ム毛織租
布ヲ例トシテ他種商品モ大体生地租布ト同様ノ狀況ニ在ル

在エテオピア日本公使館

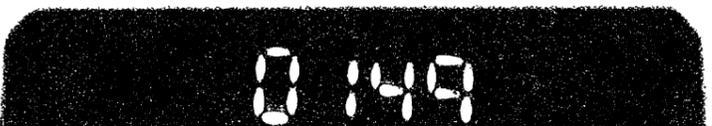


↑アフリカスルバレ印度人商店(輸出入業ヲキトシ問屋小賣ヲ
 兼ヌ)↑アルトナレ人商店(ニテ際々全部小賣)ヨリ大阪又ハ
 神戸ニ在ル本邦商店又ハ同一資本商店(在當地印度人
 商店ノ第一位ヲ占ム)モハナリ。商店ハ神戸ノ *Yasuda*
 ↑聯絡アリトハ「モトガリ」商店ノ出資者ノ一人ナル *Yasuda*
A. H. Yamamoto (息子ナリ) 或ハ支店(在當地
 印度人商店) *Mosley Dooshiki* ハ神戸ニ支店ヲ有ス
 ↑直接又書引合、稀ニ電信引合(日本ヨリ國間ノ電信料
 ハ相當高價トシ引合數量元ノ生地粗布ノ利潤薄ク
 且ツ在當地相場ハ海外相場ニ左右セシメト比較的甚
 キ特殊ノ理由ナキ限リ↑アフリカスルバレ値段ノ高低相トヤ
 且ツ又商店ノ性質ト「モトガリ」得ルモノ以テ電信引合ノ要
 ナラス本邦トノ直接引合ハ「モトガリ」例外ト稱シ得ルハ大抵ハ

在エテイオピア日本公使館

在孟買格「アゲシ」印度人商店ト引合ヲ為スモノナリ在孟買在
 ↑アゲシ印度人商店ハ本邦商店ノ代理店タルモノナラ際々
 在孟買本邦商店ヨリ「モトガリ」手荷品「ストック」トシテ見越
 輸入商店ノ買付ヲ為ス故ニ在當地外商トシテ直接回本邦
 取引ヲ為スヨリ「モトガリ」孟買又ハ「アゲシ」ト引合ヲ為ス方
 場生有利ナル場合多ク之日本トノ直接取引ノ開始ヲ見サ
 リン原因ノナリト認シラレ在當地小賣商店中ノ「新」ハ仲介
 業者(「コミッションナリー」)ノキヲ通シ在孟買モトガリ
 粗布ノ「コミッション」ハ二介アリキナリ。雜貨類ニ在リ
 テハ限度ナキモ平均一割五分乃至二割見當ナリ
 二當該商店ノ輸入
 一輸入ノ経路
 前述ノ通り

在エテイオピア日本公使館



輸出業者ニ依リ輸入セラルル場合

(1) 輸入業者ノ取引上ニ於テ地位及作用

在當國外人輸入業者ハ他方野賣業ノ賣業者ヲモ兼業
ト關係上消費業者ニ對シ直接ノ賣ヲ爲ス市場中ニ在リ
凶然國ノ輸出業者又ハ生産業者トノ取引ニ依リ場合
本邦商社ト當國輸入業者トノ直接取引ハ現在該ノ處僅
少ノ例外ヲ除キ皆無ク然レ得ルニ本邦ノ生産業者ハ各其
ノ特別販賣商社(單商社)ヲ有スルヲ以テ之而直接取
引ヲ爲ス故ニ取引ハ在該買本邦商社支店ヲ在該本邦社
トノ間ニ爲サレ在該地又ハ在アテニ外人商社或ハ仲介業
者トノ間ニ決商ヲ爲スモノヤリ
在該地考ノ爲當國ト關係取引ハ在該買本邦商社ノ
支店及外人商社ニ在アテニ外人商社トノ間ニ爲サレ

在エチオピア日本公使館

在該買

日本棉花支店、日本柳産支店、三菱商事支店、又市株公會
支店

Magi Hasan Dalai; Juma Jume Kalaa Mchalla
Bomabay (粗布、綿織物、糸類)

Mwanga Yelgi & Sons; Kalkademi Road, Bomabay
(綿布、藍布、糸類)

Magi Jemel Msumohamed; 223 Chakela Street,
Bomabay (粗布、藍布)

Amulo - Argam Trading Co, Jidi, Camp, Welen
各種本邦商社ノ取扱ヒ、Amulo - Argam - イチニ、
手付金、等ニ再
輸出ス

在エチオピア日本公使館

ハ我國ニ支店又ハ出張所ヲ有シ在リテオビ人商社ニ依
 リ輸入セシム場合
 右ニ依ル場合ニ而シテ直接取引ヲ爲スモノニテ左ノ二商社ハ
 神戸ニ支店ヲ有ス
 モハナガリー商社(合資會社)
 本在所在地「アヂオピア」
 伴領「ソマリ」ガケレ港ニ當國內別處ニ支店出張所ヲ有シ
 當國與地貿易ノ大半ヲ其ノキニ收メ輸入業 卸賣業
 及當市ニ「カハト」ト「スト」ト「ク」ノ賣所ヲ有シ市郊
 外ニ製粉場 製材場ヲ經營ス「ソ」ガ「水」ノ製造一々
 販賣權ヲ有シ其ノ支配人「エー」モハナガリー・カローレハ
 「バ」リ「オ」グ「エ」オ「ロ」レ常務理事ノ一人ナリ
 神戸支店ハ在品買同在持主「モハナガリー」ノ息子ノ

在エテイオピア日本公使館

名ヲ附シ居リ在當地本支店ニ非ヤレモ同一資本下ニ在ラバ以テ支
 店ト看做シ得ハシ
 Messageries Maritimes 商社
 主トシテ「本」製各種雜貨ヲ取扱ヒ粗布ハ取扱ハス小資本ノ
 個人商社ナリ
 二委託販賣ノ目的ヲ以テ輸入セラルル場合
 (A) 粗布ハ貴重ナリ取引量多量ナリ以テ價格
 相當額ニ上リ
 (B) 相場ハ変動ハ「アヂオピア」ノ「除」比較的激シク商標
 取モ標徴ヲ要スモノナリ
 (C) 本邦ト「アヂオピア」間又ハ「五」買「アヂ」間ノ距離
 遠ク運送ニ長日月ヲ要シ
 (D) 在外市場(主トシテ「アヂオピア」)取扱商社ニ對

在エテイオピア日本公使館

スル授信程度ノ關係上

委託販賣ノ目的ニ當テ不適當ト商売トス

能ク純粹ナル委託販賣ノ形式ニテ輸入セラルルモノ皆無ニテ

寧ろ在孟買本邦商社支店ヲ其ノハリスケレニ於テ半値

頃ヲ見計ヒ買付テ手持合トスル慣行ナリト認マラレ

三輸入業者ノ一卸賣業者ニ至リテ取引

ハ仲買人ノ手ヲ經セル場合

輸入業者ハ全部卸賣業者ヲ兼ス居ル以テ輸入業者

ト卸賣業者トノ取引ハ實際ト成セヌ

四仲買人ノ手ヲ經セル場合

粗布ハ里昂市場ノ生糸ニ於テハ一級商慣習トシテ

凡テノ取引ハ仲買人ノ手ヲ介シテ行ハレトモト異リ

外酒ト本邦商社支店トノ直接取引トモト前項ヲ述ハ

在エテイオピア日本公使館

トシテ唯一買込タヲ認セシ際ハ一級五分乃至五分(一)
般ハ二分五厘ヨリ五分位)ノ一銭ヲ、インボイス面ニ加算
ナキナルトアルモ純然トシ仲買人ノ存在ヲ缺クモト
言フ可シ

五卸賣業者ノ消費者ニ至リテ取引

卸賣業者ハ粗布ニ於テハ輸入業者ヲ兼ス居ルモノヲ

消費ヲ消スト共ニ山賣ヲモ當ハルニ卸賣業者

ト直接一般消費者ニ至ル場合多シ

五外國ノ生産ニ係ル競争ニ関シ取引系統トノ比較

一英國品

二伊國品

三米國品

棉織物ノ高級品棉糸ノ少量輸入セシ居ルヲ取引系統

在エテイオピア日本公使館

トレハ、若本邦商會と同ノモノヲ、當該國商社ノ支店出張
 所ノ設置ナキ爲、印度人ノアルニアル人商社ノキヲ經テ取引
 ナ爲ス唯英國伊國ノ在當地外商ニ對シテ授信ノ程度
 一昨年ノ取引ニ依リ幾分寛大ナルモアル由リ
 六取引上ノ機關
 當地在留ノ輸入商ハ、(一)「コモナカ」商社及「ケル
 フ」商社(ヲ除ク外)以テ、資本ノモト、多數ニテ、其ノ
 數額ニテト稱セラル、取引量ノ順位ニ依リ、印度人ノアル
 ニアル人及希臘人トシテ、商賣上ノ利害關係深キ相
 相共ニ競争激甚トシ、人種的憎惡心モ亦傳ヒ、致
 團結ニテナク、輸入業者組合等ノモ、ナク、同一種族
 間ニ俱樂部式ノモノ、存ス、ニテ、必要ノ場合ニ應ジ
 商會ノ相互疏通ヲ爲ス

在エテイオピア日本公使館

消費若、此ノ間事情ヲ知悉シ、居爲、一、凡ノ租税ヲ購入スニ際
 シテモ、各在テ度ノ歩キヲ、録シテ、モ、モ、モ、ヲ、キ、ノ、ト、ス、ル
 特種風習アリ、以テ、實値ノ相違甚シキヲ、知ル
 七、取引上改善ノ必要アリ、ト、認メ、事項
 三、島商在「アリス」ス、ト、シ、テ、其ノ開設ノ、日、商、談、キ、ヲ、以
 テ、之ヲ、除キ、本邦輸出業者ト、當國輸入業者ト、間ニ
 直接取引ノ存セサルハ、ニ、當國事情ノ、本邦當業者、全
 般ニ、知ラレ、居ラ、セ、ト、當、テ、未、ダ、モ、未、ダ、モ、本邦商人ノ、慢
 然ト、一、獲、テ、金、ヲ、夢、見、ル、モ、ノ、失敗、歸、國、後、當國事
 情照会ニ際シ、正鴻ヲ、得、セ、リ、モ、ノ、加入、伊、國、戰、争、ニ、依、リ
 佛、國、鐵、道、破、壞、ノ、ア、リス、ス、ト、シ、テ、市、場、擊、ノ、危、惧、等
 ニ、原因、ス、ト、シ、テ、ハ、言、テ、候、タ、サ、レ、處、ナ、リ
 伊、國、戰、争、勃、發、ト、同時、ニ、當、市、在、留、外、人、大、部、ハ、急

在エテイオピア日本公使館

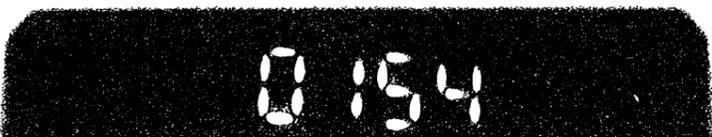
カ
シ
ン
ト

遵司場ク右在國ニ歸還セリ當國政府ノ意旨トシテ印度人
 アレキレ人等ノ商人ニシテ同下ノ再入國ニ際シテハ相當面
 倒シ條件ヲ附シ以テ入國制限ノ上當國市場ヲ驅逐セリト
 在方對志趣アリ之及レ本邦商社ノ當國進出ニ對シテハ
 政府ニ於テ大ニ歡迎シ居モト認ナリ
 本邦商社ノ存在ニテナリ本邦商社各般ニ亘リ當
 國市場ニ確固タル地歩ヲ有シ現狀アリテ本邦商社ノ
 支店等ヲ直シ直接一般消費者ニ對シテハ其ノ發展ハ
 今ヲ豫測スニ難カラス但シ此處ニ留意スルキ重要ナル點ハ
 本邦商社間ノ相互不當競争ニ依リ第ニ德夫ノ利ヲ
 以テシテハ様々注意スルキ下之ナリ(印度人等ニ對シテモ
 經驗ハ統ニ御承知ノ通)他方當市場ニ依存シ多大ノ
 利益(寧ニ乘利ト稱シ得)例之來本邦製白糖轉車

在エテイオピア日本公使館

ノニ在國位ニモテ當市ハセテハ(約)上國ニ販賣ス
 ヲ譽ケ居外商ノキリ急激ニ其ノ地位ヲ剝奪シ三代
 ラントスニ於テハ彼等ハ報復手段ニシテ凡テ方策ヲ講ズ
 アリ得テ一警ハシテ尊重スルニ要ス
 就テハ本邦商社開設ノ曉ニ此等外商ト本邦特産商品ノ
 賣買協定ヲ結ビ輸入差價賣業者ノ立場トシテ彼
 等ニ相當ノ利潤ヲ與ヘ他方極度ニ安値(假令商品ノ實
 際價格カ安價ナリトスルモ當市場ニ於テハ粗布ヲ除ク各種
 商品ニ對シテ外ノ利ヲ掛ケ居ルヲ以テ夫レト比較シ甚シキ
 差價ナキ程度)ニ非ヤル賣値ニテ山賣シ徐クニ勢力
 ノ擴大シ行クニテ取モ當ラ得ルモト信ス
 要之本邦商社カ在當國外商ト直接取引ヲ為スルハ本
 邦商社カ其ノ支店ヲ當地ニ設置シ本支店間及支店ト

在エテイオピア日本公使館



在當地外商ノ間ニ引合ヲ爲スニ在テハ互拂決済方法ノ確立簡
 易化ハ之ヨリ當國市場博覧性調査ヲ始メ顧客ノ嗜好
 推移等ヲ現地ニ於テ直ニ察知シ得ル非常ニ便宜アリ
 第三章 取引條件及商慣習

一 取引單位
 郵貨對當國貨幣ノ爲替相場ノ建及セ現米ニ於テハ呼
 值單位ハ英貨建ト爲ス一級ニ慣行セシメ元既述ノ如ク
 本邦商品ニ對シテ是粗布ノ取扱者ノ殆ト全部ハ印度人ト引合
 取極ノ場所ニ至買ツアテニ七關係上ノレールニ建及セ
 多ク取引單位トシテハ普通一噸(三俵)一俵ヲ及入レ現在ノ
 相場ニ一五〇ケルニ上ル郵貨約(八〇圓)以上
 二 標準作物
 當國市場ニ特ニ標準作物トシテナリ本邦製造各種類

在エテイオピア日本公使館

一 其ノ賣行ヲ見應モレケレシニケレトシテ東洋紡ノ
 特(C)及本邦紡ノ幅幅所最ニ歡迎セル尙當國市場
 一 相場建値ハ一ノスケル(三ケ)ヲ以テス
 三 契約取極ノ場所及方法
 當業者間ノ相對賣買ニ依ル市場取引ナリ言フヘク普
 通輸出業者ノ輸入業者ノ両者ニ行ハシモノトス
 尙他市場並ニ内地顧客ヲ相手トスルハ資本外商並ニ人ハ
 賣業者(資金ハ地粗布、七八ケル仕立、仕モノナリ)左頭在
 内ニ粗布、カセ地人縮手巾等ヲ雜然ト陳列ス各舖トシテ
 八向ニ一尙奥行ニ尺位ノ板立小屋式ノモノナリ毎土曜日ニ
 開カレ市場ニ約五千人ノ華客ヲ吸收ス一日ノ賣上
 ヲ平均一五〇ケルニ上ル賣商人ノ數ハ約八十位(ケル)ニ
 在テ又ラ纏ナタル輸入商ハ數量品名値段等適宜指

在エテイオピア日本公使館

定ノ輸出業者(在エチオピア)本部商社在在代理店又ハ
 本部商社取扱商(照付引合)為ス又道路ニ依リ輸出業
 者ヨリ出スル賣物(照付引合)基礎ニ賣買ヲ行フ方法アリ
 取引ハ賣方買方間ニ完全ニ意見ノ一致ヲ見賣方買
 方ニ契約書ヲ交付シ時ニ決定ス
 契約書實ハ
 1° 賣方買方ノ氏名
 2° 數量
 3° 品名
 4° 値段
 5° 荷渡ノ時期及方法
 6° 支拂條件
 等ヲ記載セテトス

在エチオピア日本公使館

尚市ノ在現物取引(例ハ豆買ニ於テモ)ヨリテハ普通見本ヲ
 提示シ買方ニ於テ値段賣買等諸條件ニ適合セザルノ旨ハ
 引渡ヲ為ス
 取價格決定方法
 當國唯一ノ鉄道トシテ各埠頭ノ各種荷貨物ニ對シ運賃
 (別添第二号参照)以外ニ高價尤付輸出入商ノ立場ヨリ
 之ヲ以テ賣價トス
 五ヶ年支拂ノ時期及方法
 在當地輸入業者ノ信用状態充分知ラレ居ラザルト引合粗布ノ
 價格相當高價ニシテ以テ將來直接取引ノ途開カレシ
 テモ長期ノ信用ヲ與フル迄ハ市場状態ノ研究後
 可成リ一月ヲ要スヘリ差當リ代金支拂ノ時期及方

在エチオピア日本公使館



陸上にてハ 覽拜倫敦米商信用狀(絶對ニ変更ヲ許ス)ニ依ル
 外方法ナルハ尤モ本邦商社ノ支店對本邦ノ關係ハ別問題
 トス
 六 商會ノ受渡ノ時期及場所
 在當地外商ノ取引成立ニ當リテハ現在行ハ居ル受渡ノ時
 期及場所トシテハ(1) ヲガバチ著條件 (C. J. G.
 Agikawati) (2) シー歩ヲ進マ (3) アデリスア (4) 渡條件
 (C. J. G. Adelin-Becha) (5) 取引開始ヲ見ル (6) (7)
 アデリスア (8) 在現物條件 (Disponible - Spot) 取費
 トモトモト認テ
 (9) 三様キハ荷アリ (10) ヲガバチ港到着
 (11) 在シテハ (12) アデリスア (13) 到着
 第四章 價格及其ノ構成内容

在エテイオピア日本公使館

標準物
 前述ノ如ク特ニ標準物ト稱スヘキ銘柄ナキモ當市場ニ於テ最モ
 需要トモトモト稱シ「棉帽」トシテ地ニ四番ナリ
 輸入價格
 C. J. G. Adelin-Becha (目下ノ處直接取寄ナキモ以下判明
 也)
 C. J. G. Agikawati (1) 原價ニ約五分ヲ加算セルモノト推
 定ス
 (2) ヲガバチ港ニ於テ最近ノ輸入價格表
 前場「伊領」ノリ「カバチ」港國別輸入數量ニ三本ヨリハ棉
 布五八三噸 輸入量ニ居ルヲ依テ一噸ニ〇〇〇キガ
 ラムトシテ 二二九一五俵トシ一俵ノ値段 一五〇〇ラール
 ト見テ 四七三七、二五〇、〇ラール 輸入量ニ居ル 卽定ナルカ

在エテイオピア日本公使館

「棉布」等ハ是れ粗布及棉布カ包含セ居ルヲ以テ粗布ノ輸入價格ハ
約三、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇ト見當テ見ルベキナリ

輸入價格ノ構成内容

1. 原價

2. 海上運送賃神戶(大阪)「ヤルチ」由神戶(大阪)「アテ」
間「アテ」「ヤルチ」間

3. 保険料

4. 鉄道運賃

「ヤルチ」「アテ」間「アテ」間ヲ解結ス佛國ノ鉄道ハ他ノ競争線路
ノ存在ナキヲ以テ運送賃ノ高率ナルヲ世界一ト稱シ得ベク
好「貿易」進展上ニ取テ大ニ障礙ヲ爲シ居ルニテハ當國
在留外國ノ等々痛感シ居ル実情ナリ
本例ヲ示スル鉄道ニ依リ運送賃ト約「ヤ」月ヲ要ス隊

在エテイオピア日本公使館

由ニ依リ運搬費ト比較シ運送後者ノ方割安ナリ然レトモ結局時日
ノ問題ト地方匪賊ノ危険トノ爲メ「ヤ」鉄道便ニ依リ居ルベク
鉄道便モ「ヤ」「アテ」間約「ヤ」乃至「ヤ」要シ現
在ノ戰時狀態ノ為テ尙相當輸送ノ居ルヲ以テ約「ヤ」ヨリ
至ス「ヤ」道會社ハ輸送期間最大限度ニ「ヤ」迄ノ權利
ヲ留保ス

5. 其他

積出地ニ於テハ「ヤ」包装費「ヤ」積込費用「ヤ」金利損「ヤ」買付

「ヤ」鉄内諸經費分擔等ノ諸掛リヲ完スル

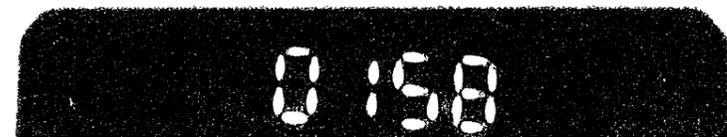
6. 輸入手續完了迄ノ費用

輸入手續完了迄ノ費用ハ買方之ヲ負擔ス

川陸揚費若干

7. 輸入税

在エテイオピア日本公使館



生地粗布棉布類ハ當國人取リテ需ムルニ當國ニ於ケル棉
 工業ノ存在スル一邦家内工業ニ依リ内國生産額ハ微々タル
 モノナルヲ以テ輸入粗布棉布類ニ對シテ輸入税ハ低キ稅率
 價ニ當ラシ一般消費者ニ供給シ得ヘキト論テリ當國
 當國市場ヲ左右スル英國品ニ代リ良質低價廉ニ本邦
 品ノ確固タル地歩ヲ占メ居ル現狀ニ於テハ猶更其ノ
 攸減方希望ニ堪ザルモ當國財政上ノ理由ヨリ相當高
 率ニ輸入税ヲ課スレ居ル遺憾ノ極ナリ
 將來粗布棉布ノニテラス本邦各種商品ノ當國進出ニ
 當リ現行輸入税率(別添第一号)當國關稅表
 參照)ノ改正ハ最モ望ムニキント信ス
 尚本邦ヨリ輸入セラレ主ナル商品ニ對シテ關稅ヲ低
 擡ス

在エテイオピア日本公使館

粗布	1. 一尺ノ長カク一ポンド乃至五ポンドノモノノ評價一基瓦ニ付三ツハレール
評價ノ三割	2. 同上五ポンド乃至七ポンドノモノノ評價一基瓦ニ付三ツハレール
	3. 基瓦ニ付〇.〇五ツハレール
	4. 七ポンド以上ノモノノ評價一基瓦ニ付一ツハレール七五
	5. 基瓦ニ付〇.〇五ツハレール
晒金中	6. 巾八九センチメートル四方五ポンド以上ノモノノ評價ニ從ヒ
	7. 或ハ三ノ評價トシ一基瓦〇.〇一ツハレール
	8. 六六〇番三十六吋四碼ノモノノ及ノ評價一ツハレール一基瓦
	9. 凡ニ付〇.〇一ツハレール
	其他ノ商標及番号ノモノノ及ノ評價一ツハレール一基瓦

在エテイオピア日本公使館

在付 0.107 ヲレ	綾織
主買物 三十八吋四寸碼ノモノ	一及ノ評價 九ヲレ
0.107 ヲレ	基瓦ニ付
三本物	同前
米子織	
一級品 三十八吋四寸碼ノモノ	一及ノ評價 三ヲレ
二付 0.107 ヲレ	基瓦
二級品 同前ノモノ	一及ノ評價 二ハヲレ
三級品 同前ノモノ	一及ノ評價 二五ヲレ
四級品 同前ノモノ	一及ノ評價 二ハヲレ
(註) 三本品ハ三ノモノニ級品及四級品ノ等級ノモノカ	同前
輸入セ	

在エテイオピア日本公使館

在付 0.107 ヲレ	綾織
主買物 三十八吋四寸碼ノモノ	一及ノ評價 三ヲレ
0.107 ヲレ	基瓦ニ付
二級品 同前ノモノ	一及ノ評價 二五ヲレ
三級品 同前ノモノ	一及ノ評價 二ハヲレ
(註) 三本品ハ三ノモノニ級品	同前
綾織(白)	
一級品 三十八吋四寸碼ノモノ	一及ノ評價 一ハヲレ
二付 0.107 ヲレ	七五
二級品 同前ノモノ	一及ノ評價 一ハヲレ
三級品 同前ノモノ	一及ノ評價 一ハヲレ
同前	

在エテイオピア日本公使館

ポプリン
 米突ノ評價「タレ」五「基」五ニ付〇「五」タレ
 双子線
 十九番手迄ノモノ「〇」ホ「〇」ノ「包」ノ評價「〇」タレ「〇」基「五」ニ
 付〇「〇」五「〇」タレ
 三十番手乃至四十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 四十番手乃至五十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 五十番手乃至六十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 六十番手乃至七十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 七十番手乃至八十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 八十番手乃至九十番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 九十番手乃至百番手目前ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 筆線

在エテイオピア日本公使館

三級品目前ノモノ「〇」ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 四級品目前ノモノ「〇」ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 (註) 縞織綾物ハ殆ト全部日本産
 晒金巾 (二十) 付物薄物
 四十碼モノ「〇」ノ評價「〇」タレ「〇」基「五」ニ付〇「〇」タレ
 襟染金巾
 四十碼中五五「〇」セ「〇」ヤ「〇」ト「〇」迄ノモノ「〇」ノ評價「〇」タレ「〇」
 基「五」ニ付〇「〇」タレ
 同上中七五「〇」セ「〇」ヤ「〇」ト「〇」迄ノモノ「〇」ノ評價「〇」タレ「〇」目前
 加「〇」也「〇」地「〇」(「〇」)「〇」
 二十及ノ評價「〇」タレ「〇」基「五」ニ付〇「〇」タレ
 加「〇」也「〇」地「〇」(「〇」)「〇」
 二十及ノ評價「〇」タレ「〇」基「五」ニ付〇「〇」タレ
 在エテイオピア日本公使館

十番手迄ノモノ
0.0五ツケレド

十番手乃至三十番手 同前ノ評價六ツケレド 同前

二十番手乃至三十番手 同前ノ評價六ツケレド 同前

二十番手乃至三十番手 同前ノ評價八ツケレド 同前

三十番手乃至四十番手 同前ノ評價一〇ツケレド 同前

四十番手乃至五十番手 同前ノ評價一三ツケレド 同前

五十番手乃至六十番手 同前ノ評價一五ツケレド 同前

六十番手乃至七十番手 同前ノ評價一八ツケレド 同前

七十番手乃至八十番手 同前ノ評價二一ツケレド 同前

八十番手乃至九十番手 同前ノ評價二四ツケレド 同前

九十番手乃至百番手 同前ノ評價二七ツケレド 同前

晒シモノ十番手迄 同前ノ評價五ツケレド 同前

在エテイオピア日本公使館

同上十番手乃至三十番手 同前ノ評價七ツケレド 同前
同上三十番手乃至四十番手 同前ノ評價一〇ツケレド 同前
同上四十番手乃至五十番手 同前ノ評價一三ツケレド 同前
同上五十番手乃至六十番手 同前ノ評價一六ツケレド 同前
同上六十番手乃至七十番手 同前ノ評價一九ツケレド 同前
同上七十番手乃至八十番手 同前ノ評價二二ツケレド 同前
同上八十番手乃至九十番手 同前ノ評價二五ツケレド 同前
同上九十番手乃至百番手 同前ノ評價二八ツケレド 同前
人造絹絲織物
三十碼モノ一及ノ評價一五ツケレド 評價ノ二割
人絹糸

基礎ノ評價八ツケレド 基礎ニ付一ツケレド
絹織物
本晒一末突ノ評價一ツケレド 評價ノ二割

白 同前ノ評價一ツケレド 同前
絹緬(一級品) 同前ノ評價四ツケレド 同前

在エテイオピア日本公使館

縮緬(二級品) 目前ノ評價 二七〇円 目前
 カーキ一也
 級品 三十四番碼ノ評價 四〇円 目前
 級品 目前ノ評價 三六〇円 目前
 級品 目前ノ評價 二七〇円 目前
 カーキ一朱子四級品 目前ノ評價 二五〇円 目前
 カーキ一綾五級品 目前ノ評價 二〇〇円 目前
 (註) 級品及二級品ヲ除キ他全部是品
 尚關稅以外ニ附加稅一割(評價ノ部) 學校稅一及
 二付一ポアストル(一ツカレハ十六ポアストル) 及
 Droit de Coté 百基瓦ニ付一ツカレニ徴收ス
 トカレニ付一ツカレ内譯
 一翻譯料(佛文ノセノラフアリシテ翻譯料ニシテ)

在エテイオピア日本公使館

百基瓦ニ付 〇.五〇ツカレニ付
 統計稅 百基瓦ニ付 〇.二五ツカレニ付
 手數料 百基瓦ニ付 〇.五〇ツカレニ付
 小宅郵便ハ配達料トシテ一個付六ポアストルヲ徴收ス
 運賃
 一ツカレノアリスノ間ノ鐵道運賃ニ付テハ別添第二号
 運賃ノ通
 倉敷料
 在「マリス」ノ保稅倉庫内ニ保管セラルル荷物ハ十日間送ハ
 無料十日ヨリ十日間送ハ各一個付一ポアストル
 一ツカレハ十六ポアストルニ付十日ヨリ各一個ニ付一ポアス
 トルヲ徴收ス
 (附) 雜費

在エテイオピア日本公使館

自郵車(荷造りセモノ及セモノ)	5,000
セメント一噸付	1,000
鉄板形ブリック建築材料一噸付	2,000
同上(貨車積)モノ一噸付	1,500
揮発油一箱付	175
樽入アビエ及葡萄酒一噸付	2,000
棉布類	
六〇「キヨウシ」返一俵ニ對シ一俵付	2,000
六〇「キヨウシ」方三〇「キヨウシ」返々一俵付	2,500
三〇「キヨウシ」方六〇「キヨウシ」返々一俵付	3,000
四〇「キヨウシ」方四〇「キヨウシ」返々一俵付	

兵部省價格
右記諸原自之依此費用ニ加フニ在舖維持費税金等ノ諸
掛リヲ以テ 賣價價格トス

在エテイオピア日本公使館

取扱ニ由ラズ荷物(キヨウシ)トシテ一噸付	1,000		1,500
同上	750		1,500
同上	500		600
同上	500		600
同上	350		500
同上	300		400
同上	300		400
同上	250		350
同上	200		300
同上	150		250
同上	100		200
同上	50		150
同上	0		100
同上	0		50

取扱ニ由ラズ荷物(キヨウシ)トシテ一噸付
特定料金

在エテイオピア日本公使館

五、山賣價格

山賣價格ニ對シテ、約ニ割力ニ至リ、利益ヲ加算シ、山賣價格トス。粗布類等ニ付テハ、賣價格ノ甚シクモ、他種商品ノ例ハ、雜貨類ニ付テハ、標準山賣價格ヲ五割ノ割力ノ利益ヲ算ルニ付、善通トナシ、洋製木棉、ロイヤル(三四位ノモノ)カ當市ニ、三十五圓ニ賣ル、有様ナリ。

大、手賣、及、洋製外ノ外國ノ生産ニ係リ、競争益ノ價格ト比較。當國ニ、既述ノ如ク、棉布工場等ナリ、ロイヤルニ、手織機ニ依リ、家内工業ヲ、織機ニ原料トシ、高級トシ、モ、當國産棉、手織機ノ糸ヲ用ヒ、少數事家又ハ、有産階級ノ法又ニ、應ス。善通受下等品ハ、本邦或ハ、英國ヨリ輸入セ、棉糸ヲ以テ製ス。且、生地粗布ノ生産者無シ、以テ、茲ニ、競争益トテ、取扱ス。英國製粗布(ロイヤル、タレ物)ハ、現ニ本邦ニ、壓倒ナレ。

在エテ、イオピア、日本公使館

當國市場ヲ完全ニ其ノ手ヲ及シ、去リ、唯、金、カ、キ、レ、地、等、極、小、量ノ輸入ヲ、見ル、ノ、ミ、テ、價格ハ、本邦品ト比シ、約ニ割力、高價ナリ。右記商品ハ、伊、太、利、製、績、織(戰争ノ為、輸入杜絶)ト、其、ニ、需要良好ト、願、各、層、ニ、相、當、大、止、カ、以、テ、確、美、止、將、束、性、ヲ、得、ス。本邦商社、毛、粗、布、ノ、三、三、又、績、織、カ、キ、レ、地、等、ヲ、毛、取、扱、フ、ニ、テ、ラ、希、皆、三、又。

第五章 金融關係

一、各當業者ノ資産狀態

當國恐慌ハ、世界利加大陸、疆國ニ、當國ニ、波及シ、一九二七年、當國産品ノ、輸出漸減ノ、路ヲ、辿リ、居リ、ル、ニ、加ヘ、伊、太、利、戰争ノ、影響アリ、其ノ、歸、結、ニ、對シ、不安アリ、テ、海外輸出商ノ、引合、一時、中止、商、品、發送、ノ、手、控、等、ニ、當國貿易、益々、萎縮シ、尚、一、般、消費階級、タル、士、青年、ノ、出征

在エテ、イオピア、日本公使館

依に購買力ノ低下ニ當テハ巨利ヲ得ルニ在リ國當業者モ昔ヨリ
 在熟ナリ唯營業継続ニ行リ程度ニ非現狀ナリ但シ當國人ノ購買
 トシテ貯蓄セシメテ得ル結核等ハ食費ヲ除キ全部浪費
 不慮習アル依リ戰時狀態ニ相及シ以當商ハ漸ク店舗ヲ
 維持シ得居ル次第ナリ

今回ノ作レ戰事ニ依リ最モ打撃ヲ蒙リタルモノハ大資本ヲ
 擁スモノトシテ其ノ資產狀態ニ相當ノ変改アルト豫測スル
 二銀行ト各當業者トノ取引關係
 一各當業者ニ取引關係ニ銀行ノ種類及數
 當國ニハ國立銀行(一九三二年國立銀行トシテ資本金七五〇、〇〇〇
 英磅)「バンク」カ、エチオピア及純粋ホル「エチオピア銀行
 「ソニテ、ナシヨル」デケオロー「一九一〇年「エチオピア」國ニ
 於テハ農商業開發目的ヲ以テ創業資本金百カ

在エテイオピア日本公使館

「カレール」ハ
(A) 當座預金、當座貸付
(B) 商品擔保貸付
(C) 外國向手形ノ發行
(D) 信用狀ノ發行
(E) 海外ヨリ取組ノ荷爲替手形業務
(F) 外國爲替ノ賣買
等各種銀行業務ヲ營ム
原産地ヲ輸入商外荷爲替手形ハ英貨磅及「カレール」ニ依 ル慣行ナリ
(G) 尚前記銀行ハ業務トシテ夫レ倉庫業ヲ營ム輸入商ノ 委託ニ依リ荷物到着當座ヨリ荷渡完了迄擔證保 管ノ責ニ任ス

在エテイオピア日本公使館

當國商人商社等之銀行業務殊ニ為替業務ヲ世襲シテアリ
以銀行等當業者ニ對シテ投信狀態

當國ニ於テ當業者ハ一ニテ際リ外全額小資本高鋪ニテ前者ハ相
當額ノ資産ヲ有シ信用狀態ニ可成リ良好ニ關係シ銀行ニ
對シテ投信状態ヲ為ス下地トナリ反對ニ後者ハ其ノ必要ノ場
在任ニ出來ルニ銀行ニ對シテ投信ヲ肯セズ

當業者ノ當座貸越ハ擔保物件提供ト確實ニ連帶保證人
ノ保證アリ於テハ年利九分ニテ之ヲ認メタルニ伴フニ戰爭開始
以來銀行ニ於テ之ヲ許與ス且高價担保ノ代貸付ハ荷
為替證券類ノ提示ニ證券面ノ約六割ニ對シテ又年九分
ノ利息ヲ貸付ヲ為シ且當座貸越ト同ク戰爭開始後
其ニ中若ク担保取引者ハ担保ノ需要率大ニテ之ヲ
資本ノ回轉早ク其ノ必要ヲ認メタルニ趣キリ

在エテイオピア日本公使館

信用狀發行ノ際ハ全額貸放經由ヲ為シ且對シテ荷替手形ハ
D/P (Documents Contre Paiement de La Suite)

At Sight 條件ヲ以テス
在リテ及在リテ外商對在邦輸出商ノ間ニ D/P 一覽後
三日月ノ條件 至費ハ至ニ D/P 一覽後 三日月 至六十月 或

ハ信用狀態 最モ確美ニ之ニ對シテハ D/A (Documents
Contre Acceptation) 條件取引行ハ居ル様様ナリ

五轉入國以外ノ外國ノ生産ニ係ル競争品ニ關スル金融關
係トノ比較

英國伊國輸出業者公議約年世紀以前より當國輸
入商ト關係ヲ有シ且當該國公使館(伊國公使館ハ
戰爭開始ノ爲閉鎖)ノ存在シ居ルヲ以テ各種調査
相當行跡ノ居ルモ支店出張所ナク爲取扱輸入商

在エテイオピア日本公使館

カレ印度人ノアルヒアルヒトノ金融關係ト本邦前記印度人等ノ關係トを
同一ニシテ趣アリ

等五章本邦商社ノ輸出促進ニ關シ改善ノ施設ノ必要アリト認マレ、
事項

一 本邦商社ノ支店出張所ノ設置

記述ノ如ク當國ニ輸入ナル粗布、木綿類、雜貨類ハ在本邦

商社ト直接取引ニ依リテ買入アルニ於テ本邦商社ノ支

店又ハ代理店ヲ通シ間接取引ト見居リ申候者モ印度商人ニ

利ヲ得セシメ現狀ニ在リト且又當國ヲ以テトシテアルニテカ

面ヲ以テアルニテ東海岸方面ヘノ將來尙一層ノ發展可

能性ニ鑑ミ是等排他主義ノ支店出張所ノ設置ヲ必要トス

ニ本邦商社間ノ競争排除ト相互統制

能性ニ鑑ミ是等排他主義ノ支店出張所ノ設置ヲ必要トス

在エテイオピア日本公使館

態度ヲ見ニ當該商社ノ專門取扱店ニ非サレモ一様ニ同一商社
輸入ノ採算割シヲモ願フニ引合フ爲メ尙尠カラス 尙ニ必然的
ニ品質粗悪トナリ本邦商社ノ聲價ヲ甚シク毀損スルニ任アルニ
テ又同一商社ノ記號ヲ用シ折角新市場開拓ノ努力モ永續
性ヲ失ヒ關稅引上げ爲替、インフレ、稅割等別等諸種障
害ノ設ケラレ、ニ至ルハ既知ノ事實ナリ 既ニ本邦商社間ノ有
益無益ニ競争ヲ排除シ價值ノ協定ノミナラス商品販賣ニ
關シ專門取扱店ノ區別統制等ニ依リ一時的多額ノ利ヲ獲ル
ルハ永續性ニ進展ニ力ヲ注キ當該市場ニ確固不動ノ
地盤ノ把握ヲ望ムモノナリ

ニ大衆消費尙安價ニ關シ必要ニ利潤ハ僅クナルハテモ
比較的高級商社ニ對シ當國輸入業者ノ注意喚起ノ
爲努力ニ必要ナリ

在エテイオピア日本公使館

前記ノ通 本邦ノ邦治ヲ予テモアメリシ 輸入スルニ當リテハハガナリ
 通商ナルトナシテハ、エーゴニテ、コ置テ化零ニ處テラ本邦也總意
 總事ニ任命シテ同時ニ本邦商權ノ保護ニ當リテ一業ナク存ス
 第六節 本邦商治ノ一國ニ於テハ將來ノ見込
 本邦商社ノ支店等ノ設置ニテ過去現在ニ於テ當國一般消
 費者間ニ既ニ「C」ノ商權ニ即 *Made in Japan*
 本商治ノ採用セ居ルハ大ニ意ヲ強クシテ次第テ其ノ
 人等ノ消費額ハ前述ノ如ク僅ク五〇％ニ過キヤラシテ
 本邦商社ノ支店等ノ開設ニ依リ當國外商トノ直接取引或ハ
 一般消費者トノ接觸ニ「A」アツタニハ市場ノ把握極ニ
 當國各都市及各地市場ヘノ勢力伸張ハ尙宜ク廉價
 本邦商治ニ取リ寄ルハ、ハチモト信ギシ文化ノ進展ト
 生々様式ノ改善向上ト相俟テ本邦商治ノ前途ハ伊コレ

戰事ノ終結條件ト何ニ依リテハ有難クモアルハト 觀望セザレ
 國際聯盟トシテ妥協會ニ於テ和協ト作ル不成就ト伊軍ノ
 「C」ニ據等何ニシテ豫想セザルニ事也ノ急變ノ見込現狀
 ンテ伊軍ノ「A」アツタニハ、一領ニ確時ノ問題トシテ且當
 地ノ一領ヲ見シテハ「E」國運命ノ歸趨ニ既ニ決セシト
 一般豫測セザル當國ノ伊國殖民地位或ハ保護化ノ場合
 ハ當國伊國ノ保護政策ニ基テ他國品ノ排撃ニ依リ本
 邦商治ハ強ク障害ニ直面スルニ事明ノ理ナシテ、第一當國
 ハ故國トシテノ刑体ヲ保持シ行クニテモ戰勝者タル伊國ハ
 當國ニ對シテ其ノ權益伸張ノ為ニ凡テ手段ヲ講スヘク本
 邦商治ノ當國進出ハ甚シク困難トナルヘク本報モ「E」コ
 國ノ獨立性ニ大ニ變化ナカレハ「E」コ前提トシ現在迄「E」國市場
 取引取引狀况ヲ叙レタルニテ、

在エチオピア日本公使館

在エチオピア日本公使館